新しい総合事業で利用できるサービス

介護予防・生活支援サービス事業

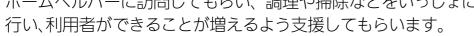
対象者

- ①要介護認定の要支援1・2の認定を受けた方
- ②基本チェックリストにより生活機能の低下がみられた方



サービス内容

- ●訪問型サービス
 - ・介護予防訪問介護相当サービス ホームヘルパーに訪問してもらい、調理や掃除などをいっしょに





●通所型サービス

・介護予防通所介護相当サービス

デイサービスセンターで、食事・入浴などのサービスや、生活機能の維持向上のための体操や筋力トレーニングなどが日帰りで受けられます。

・短期集中型通所サービス

生活機能を改善するための運動器の機能向上や口腔機能向上などが必要な人に、専門職の指導による短期的な指導を行います。

本人負担割合

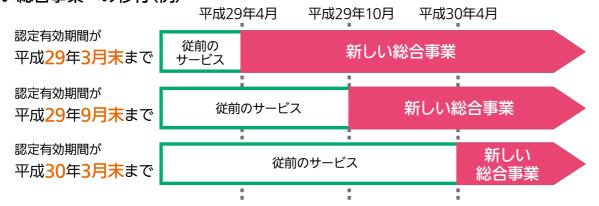
●サービスを利用したときの本人負担割合は、所得状況により1割または2割となります。

すでに要支援の認定を受けている方へ

新しい総合事業への移行時期

平成29年4月以前に要支援認定を受けている方は、現在の認定期間満了日まで従前の介護予防(介護予防訪問介護、介護予防通所介護)のサービスを利用できます。また、認定期間満了日以降も総合事業を利用したい方は、認定更新または基本チェックリストを受けていただき、順次新しい総合事業の利用へ移行します。

新しい総合事業への移行(例)



黒石市地域包括支援センター 包括支援係 TEL: 0172-52-2111 (内線: 530・531)



介護予防・日常生活支援総合事業(新しい総合事業)

介護予防・生活支援サービス事業

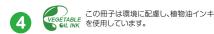
要支援 1・2 の認定を受けた方 基本チェックリストにより生活機能の低下がみられた方が対象

一般介護予防事業

65歳以上のすべての高齢者が対象

介護予防・生活支援サービス事業と一般介護予防事業を合わせて介護予防・日常生活支援 総合事業(以下新しい総合事業)と呼びます。





新しい総合事業を利用して自分らしい生活を続けましょう

新しい総合事業とは

新しい総合事業は、高齢者の介護予防と自立した日常生活の支援を目的とした事業で、

介護予防・生活支援サービス事業と一般介護予防事業の二つからなります。

地域のニーズや実情に応じた多様なサービスが提供されることが期待されています。

新しい総合事業のポイント

● 介護予防サービス の「介護予防訪問介護」、「介護予防通所介護」は、

介護予防・生活支援サービス事業」に移行します。

● 介護予防・生活支援サービス事業 のみを利用する場合は、基本チェックリストによる判定だ けで利用できます。(要支援認定は不要です)

要支援1・2の方は、介護予防・生活支援サービス事業と「介護予防訪問看護」、「介護予防通 所リハビリテーション」などの 介護予防サービス を利用できます。

介護予防サービス

- ●介護予防訪問介護
- ●介護予防诵所介護

護成 選予防・生活支援サ 以29年4月から 業に移行

介平

新しい総合事業

介護予防・生活支援サービス事業

●訪問型サービス ●通所型サービス

対象者

- ・要支援1・2の認定を受けた方
- ・基本チェックリストにより生活機能の低下がみられた方

一般介護予防事業

- 健康教室 ●転倒骨折予防・認知症予防教室
- 介護予防講座地区公民館出前予防教室など

対象者

65歳以上のすべての 高齢者が対象



要支援 1・2 の方が利用できるサービス

介護予防サービス

- ●介護予防訪問入浴介護
- ●介護予防訪問看護

さまざまなサービス

で皆さまの暮らしを

支援します。

- ●介護予防短期入所生活介護
- ●介護予防福祉用具貸与 等
- ●介護予防居宅療養管理指導
- ●介護予防通所リハビリテーション
- ●地域密着型の介護予防サービス

介護予防・生活支援 サービス事業

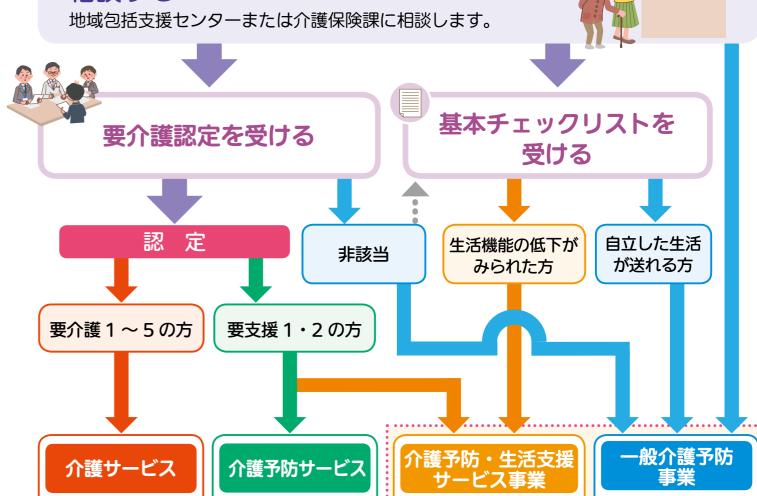
- ●訪問型サービス
- ●通所型サービス

※ただし、介護予防サービスの介護予防通所リハビリテーションと介護予防・生活支援サービス事業の介護予防通所 介護相当サービスの併用はできません。

新しい総合事業 利用の流れ

新しい総合事業には、要支援1・2の認定を受けた方や、基本チェックリストにより生活機能の低 下がみられた方が利用できる「介護予防・生活支援サービス事業」と、65歳以上のすべての方が 利用できる「一般介護予防事業」があります。

相談する(65歳以上の方)



基本チェックリストとは

を利用できます。

基本チェックリストは、25の質問項目で日常生 活に必要な機能が低下していないかを調べます。 介護予防・生活支援サービス事業のみを希望する 場合には、基本チェックリストによる判定で、サー ビスを利用できます。

※介護予防・生活支援サービス事業対象者となったあ とでも、要介護認定を申請することができます。

を利用できます。

を利用できます。

基本チェックリスト(一部)

新しい総合事業

を利用できます。

(65 歳以上のすべての

高齢者が利用可能)

- □バスや電車で1人で外出していますか? □転倒に対する不安は大きいですか?
- □週に1回以上は外出していますか?
- □今日が何月何日かわからない時がありますか?